

スポーツ推進委員の役割

スポーツ推進委員とは、教育委員会から委嘱される非常勤の特別公務員です。平成23年に「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」へと名称が変わり、任務はスポーツ推進のための事業に係る連絡調整および、スポーツ指導・助言や地域住民と行政のコーディネーター、スポーツ施策の推進役です。

スポーツ推進委員の活動

本町は、15名のスポーツ推進委員がおり、すべての町民が健康で生きがいのある充実した生活を送ることを目指し、「町民、一学習、一スポーツ」を合い言葉にスポーツ推進活動を行っています。町内には各種スポーツ施設がありますが、中でも中心的施設として捉らえているのが蘇水公園です。今後、この公園を「複合スポーツの拠点」として位置づけ、スポーツ人口の増加へつなげたいと考えています。



八百津町は年々高齢化が進んでおりますが、この高齢化に着目し、その方たちが外に出て、世代を越えた交流をし、その中で大いに体を動かして、「心も体も健康」になっていくことを目標としています。この「体を動かす」ことを目的とすることにより、「地域コミュニティの活性化」、「世代間交流」、「医療費の削減」など多くのメリットが見えてきます。この目標の実現を考えたときに大きな柱となるのが、地元の、**【総合型地域スポーツクラブ「チャレンジクラブ802」】**

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」

スポーツを楽しむことができる社会を実現するために、その地域に住む「みなさん」が主役となって、自ら運営・管理をする新しいスポーツクラブのシステム。

われわれスポーツ推進委員も、このクラブを全面的にバックアップしており、まさにこのクラブが目標への実践を行っています。今年度で設立10周年を迎えるクラブの会員数は現在366名、運営する教室は23教室あります。60歳以上の会員が多くなっており、たくさんの高齢者が外に出て体を動かすことが日常化し、そこで仲間と交流することが楽しいと感じており、この年代の会員数は年々増加しています。



一方で、中学生～59歳までのクラブ加入率は低いのですが、この方たちも仕事帰りなどにフィットネスクラブに通ってスポーツを行う人もいます。しかし、全国的に20代・30代の若者に限っては特にスポーツ実施率が低いとされています。ある調査では「スポーツやエクササイズ系スポーツ」を行っていない人のうち、70%もの人が今後も「スポーツやエクササイズ系スポーツを行う意思がない」との調査結果が出ています。しかし、八百津町のスポーツ実施率は、確実に上昇しています。その一因として、ウォーキングやジョギングなど一歩家を出れば、身近なところで行える「個人エクササイズ」を行う人が増加していることにあります。われわれはチャレンジクラブ802の活動を通じて、「個人エクササイズ」だけに依存するのではなく、より多くの方にスポーツをする機会を今後も提供していきます。

全国の市町村によっては「スポーツ推進委員としての活動が見えない」など厳しい意見もありますが、委員の活動は、表だって見せる部分と、見えない部分もあります。われわれは、この見えない部分で「地域スポーツ活動のコーディネーターとしての役割」をしっかりと果たし、確実にクラブを支えてきました。

価値観の多様化によって個人のライフスタイルはさまざまですが、それぞれのスタイルに合わせながらスポーツを楽しむことができる環境の提供は十分できると思います。

少しずつではありますが、スポーツが住民の日常に浸透してきており、その「スポーツ欲求の把握、スポーツ振興の企画・立案・運営、住民へ熱意を持った指導」これらのできるスポーツ推進委員を今後育成していくことも重要な課題です。この実現には、われわれ委員および、町行政の意識改革が極めて重要な意味を持つと考え、今後のスポーツ推進委員活動に取り組んでまいります。

